

新規事業

愛媛県発達障がい等教育支援体制構築事業

全国的に義務教育段階の児童生徒数が減少傾向にある中、特別支援学校、特別支援学級、通級による指導を受けている児童生徒数は増加しており、本県でも同様の傾向にあります。また、平成 24 年に文部科学省が実施した調査では、通常の学級に発達障がいの可能性のある児童生徒が 6.5%在籍しているとの結果が示されました。このことは、全ての学校・学級に特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する可能性があることを示唆しています。そのため、これらの幼児児童生徒に関わる全ての教員の特別支援教育に関する専門性向上が喫緊の課題となっており、特に、十分な知識や技術のない教員に対する支援体制の構築の必要性が高まっています。

そこで、県教育委員会では、今年度から「愛媛県発達障がい等教育支援体制構築事業」を創設し、特別支援教育専門性向上アドバイザーを 2 名配置して、各地域や学校に対する研修支援や指導・助言、地域の中核となる特別支援地域リーダーの育成などに広域的に取り組み、特別支援教育に携わる教員に対する支援体制の構築を図っていくこととしています。

<事業内容>

(1) 教員の専門性向上のための研修等の充実

ア 特別支援教育専門性向上アドバイザー配置（2名）

特別支援教育に関する高い知見を有する 2 名を、専門性向上アドバイザーとしてみなら特別支援学校に配置し、地域や学校等に対して、特別支援教育の知見を高めるための研修支援や地域の中核となる特別支援地域リーダーの養成などに取り組んでいます。

イ 研修等支援体制の充実

専門性向上アドバイザーを市町教育委員会及び高等学校等に派遣し、特別支援教育の知見を高めるための研修支援や支援体制構築に向けた指導・助言を行っています。



【園内研修の様子】

研修内容

1. 特別支援教育についての理解を深める
2. 気になる子どもとは？
3. 保護者との関係づくり
4. 教育相談の事例より
5. 支援学校の様子

研修後のアンケートより

- ・ 未満児クラスで気になる子どもがいた場合、経験不足からの未発達という場合もあるのに、つい「〇〇ができない」というマイナスイメージをもってしまいがちなのを反省した。「〇〇できる」のプラスイメージで見れるよう、講師の先生が言われた「書き出してみる」ことを実行していきたい。
- ・ 就学前にある程度の方向性を決めなければいけないと思っていたが、就学後も発達段階に応じたフォローを受けられ、色々な支援の選択肢があることが分かって安心した。

(2) 経験の浅い教員への指導・助言などのサポート体制の構築

ア 特別支援地域リーダー研究協議会の開催

今年度は、東・中・南予ごとに小・中学校教員3名及び県立学校教員1名を特別支援教育地域リーダーに任命しました。各地域の中核となって、地域の実態に応じた指導・助言や研修のサポートができるリーダーを育成するとともに、地域や学校等の研修で活用できる「研修プログラム」を作成するため、特別支援地域リーダー研究協議会を開催しています。



【リーダー研究協議会の様子】

第1回目は、東・中・南予の3会場で開催しました。

まず、各地域の特別支援教育の現状と課題について、情報交換を行いました。「以前に比べると教職員の特別支援教育への意識は高くなっている。」「幼保小中高の連携が進み、幼少期からの支援が充実してきている。」などの意見が出されました。一方で、研修機会確保の難しさや経験の浅い先生へのサポート体制が十分でないなど、課題も明らかになりました。

その後、研修プログラムで取りあげたい内容や取りあげ方について等の意見交換を行いました。今後も研究協議を重ね、各学校（園）で活用しやすい研修プログラムを作成していきます。

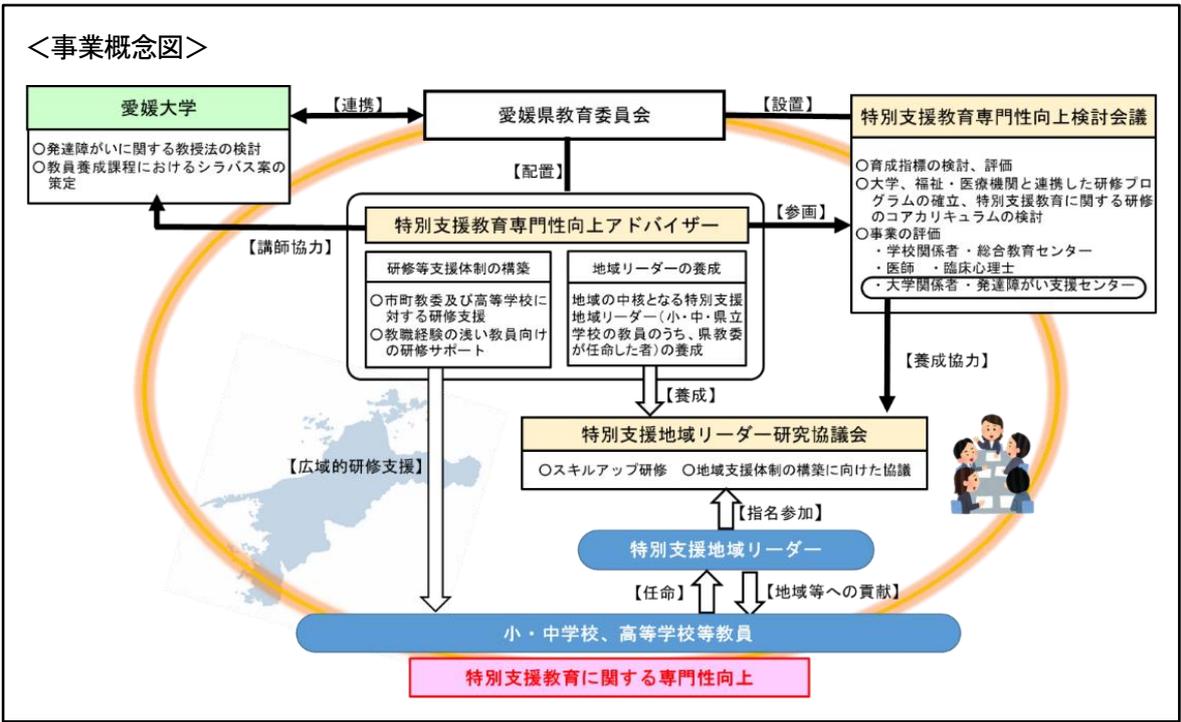
なお、来年度は、リーダーの対象を県下全域に広げ、全20市町と通級指導教室を設置している県立高等学校、東・中・南予の知的障がい特別支援学校から1名ずつ任命する予定です。

イ 学校への指導・助言などのサポート体制

専門性向上アドバイザー2名が、各校からの相談に対応します。（電話、オンライン、訪問など）

(3) 特別支援教育専門性向上検討会議

学識経験者、医療・福祉経験者、学校関係者等11名で構成する検討会議を年2回開催し、教員の専門性向上に係る具体的な計画の策定や評価、研究結果の分析等を行います。



この事業を通して、各地域や学校等での研修資料となる研修プログラムの確立や、研修支援や指導・助言を行う地域リーダーの育成を図ります。研修プログラムの校内外での活用や、地域リーダーの活躍により、特別支援教育に携わる教員のスキルアップ、経験の浅い教員のサポート体制の構築が、児童生徒の充実した学校生活につながるよう、努めていきます。